

逐次刊行物

10.4.13

国立婦人教育会館
人権センター

朝

セクハラ県部長

出張中 女性職員に抱

今年六月、長崎県の臨時分を受けていたことが、
の西日本新聞が女性に日わかった。
県内にセクハラ行為をした 県人事課によると、こ
れで、七月に臨時免職処分は六月中旬、一相

朝日新聞

川添前県部長
が出馬を表明

候補補選大村市区

「大村」県年二月に実施
される県選補選大村市区
（被選挙権）に、前県商
工労働部長 川添厚氏（ま）
が九日、立候補を表明した。
無所属で出馬する。

川添氏は「地

進するには、県

政策論議が必要。

場で県活性化の一

たい」と語り、「人

人材流出が続く本

構造改革に取り組み

などを活用した国際

業の展開などで県民

も努めたい」と述べた

セクハラ部長〈仰天〉立候補 阻止運動 てん末記

1月号、2月号の会報を読まれた方々から、「アノ件、どうなりま
したか？」という問い合わせもありましたので、御報告
もかねて作成しました。私たちは、今回のとりくみには
とても 満足感を覚えています。なぜなら、会員各々が
連絡をとり合い、パワフルに、冷静に、確実に作戦
をたてて行動したからです。その戦略の一端をお読み下さい。

ひとます
安心……

最下位で
落選!

・でも、又
 「次回立候補」ということ
 もあるからね。
 ・そう、安心しないで
 ブラジリーのホップをキリとめて！
 (3人どのつむ)？
 古い古い

ばってん・うーまんの会は 11月に戦ったか

2月10日 プ・私の会、夜9時集合(仕事終了後)。作戦会議。
 会員Bは、運営への問い合わせをすませ、次の
 ことを調べてくれていた。

漸

OK

呼びかけは イル です

会員は、各々がもっている女性ネットワークを生かし、できるだけ多くの女性達に呼びかけて、阻止運動を起こすことにした。(6団体)



会員の情報により、ある会合に出向き、呼びかけをさせてくれるよう依頼。しかし、他の団体とのかね合いもあるということで不許可。会合終了後、出口で配布しては？と知恵をもらい、勇気百倍、でき上がっていたチラシを、「リン時会報」として作成しなおし、午後4時すぎ集合して配布する。談んだ他県の男性達も「面白い」と共感していた。

市民オンズ大浦絃子さん(大村在住)と連絡をとる。このころすでに大村女性のちごたえを感じ始める。
うーおんの会事務局は、「女のルート 3年」(うーおんの会発行)の購入者の中から大村在住の人をしらべ、会報1・2月号を郵送。これも反対の電話やFAXあり、阻止運動の輪が次々と広がっていく。

大村の〇女性労組集会の情報を手に入れ、FAXにて会報にリンジ会報をマス刷りしてもらうことにした。バツ4リ。

いよいよ、意外にとまらへきか
選挙事務所よりF氏 来局 !!

伺って。
お話を聞きたいと-

江氏とは何者ぞ

会員は すぐ ネットワークを使い、F氏について おおまかに (ホトはくわしかったのよ)
正体を言明へ、F氏との会談にのぞんだのでした。

このころ——応援演説中の元部長妻の言動に対し
私たちの怒りは増した。

ある所では

相手側女性が部下として あいさ
に 来た時、ワルイ女だと直感した
夫に、近づかないようにいった。
(夫は女好き?)

ある時には

夫がセクハラをする筈はありません
相手の方は私も知っていますし。
家族ぐるみのつき合いでしたワ。
(夫を信じるな)……うーま会の茶尺(

ある 抗ギ団体には

夫はセクハラはしていません。
新聞の記事はウソです。
(本人も認めたといったヨ)

では、真偽のほどは如何に？

1. 会員Dは 県庁への
ネットワークを使い、セクハラを
された 元部下の女性と、元部長の
ことをしっかり 聞きとる。
やっぱり、新聞報道の勝ち。
それ以上のことも聞けましたゾ。
川添氏の行動について
2. 会員Eは各新聞社
支局へTEL。
川添氏はセクハラ報道に
対し、何の抗議も、訴えも
していないことが判明。
やっぱり、新聞が勝ち。

川添選挙区所よりF氏をおくり込むこと2回。

上記のよにたくさんの情報を手に入れている私たちの前に、F氏は、セクハラ
は認め、インボー(陰謀)説で同情をいこうとしたが、私たちは、
セクハラの実態に固執。女性の、人間としてのアイデンティティをこわし、
働く場さえ奪うセクハラ犯罪者が政治の場へ上がることの重大性
を指摘し、一歩もひかなかった。

大村の女性のみなさん ありがとう♡

私たち ばっしん・うーまんの会は、^(行動力) 会員の力を、又、又
再認識、お互いに信じ合い、そして、オモシロかったよ。

でも、男社会—政治・権力の場での— 深い、深い
ドロドロしたことで知ってしまったワタシたちでした。でも、このことは、
フェアじゃないから書かないことにします。素敵なF氏に対してもネ。